

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	いちき串木野市家庭教育支援チーム (呼称: ほっとルーム )
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	いちき串木野市役所 市来庁舎 社会教育課内
活動範囲	いちき串木野市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	<u>5</u> 人 元教員 1人、 母子推進員 1人、 元PTA 役員 3人
具体的な活動 内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  1 保護者への相談活動 (1) 小学1年生長子(年3回)、小学2年生長子(年1回)家庭訪問 市内全小学校の全長子家庭訪問 (2) 出前サロン「おあしす」の開設 希望する小学校・保育園等で開設 (3) 来室、電話相談 2 情報紙「ほっとルーム」だよりの発行 3 家庭教育学級や母親学級・読み聞かせグループ等との連携 情報交換や学びの場となる家庭教育学級等への参加を促すための取 材・広報 4 企業との連携
活動の成果	○ アンケート結果より ・ 長子家庭訪問は87%が良いと回答。「誰かに話したかった」とか「訪問し てくださると安心します」とのコメント。 ・ 出前サロン「おあしす」の開設について、90%が良いと回答。「おあしす」 に来て、自分の思いを聴いて頂き、少し余裕ができて、気持ちがいよさしくな った」とのコメント。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほっとルーム」だよりは、「時々読む」「毎号読む」との回答を合わせると、94%の方々が読んでいるという結果になっている。「毎号、いろいろな情報があり、はっとさせられたり、再確認させられたり、名前の通りほっとします」とのコメント。</li> <li>○ 協議会の委員に、企業代表の方も入れることで、「PTA等に出席する時等、申し出れば出席できるように配慮する」等、企業の協力も得られるようになっている。</li> <li>○ 学校との連絡会やソーシャルワーカーとの連絡会等の情報交換会により、再訪問等への早い対応ができるようになった。</li> </ul>
<b>活動において苦労した点や課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本事業の更なる周知と連携</li> <li>○ 支援員の対応力の向上</li> </ul>
<b>今後の活動目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共働きで不在家庭がますます増えると思われる。2回目の訪問で不在家庭への返信用のアンケートを実施しているが、気になる家庭への再訪問は、訪問時間をずらすなどの工夫をしたい。</li> <li>○ 保護者に寄り添い、良い相談相手になるために、共感・称讃・アドバイスを基本に、研修を深めたい。</li> </ul>
<b>問合せ先</b>	<p>(部署・氏名等) いちき串木野市教育委員会 社会教育課  (TEL) 0996-21-5128 (E-mail) shakyo1@city.ichikikushikino.lg.jp</p>